

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成25年度第3回定例会
開催日時	平成26年1月16日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館3階会議室
出席者	委 員：小西委員、鈴木委員、山田委員、山本委員、倉内委員、川口委員 事務局：奈良館長、中村副館長、吉野庶務係長
議題	1 諸報告 2 西東京市図書館基本計画・展望計画について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市図書館基本計画・展望計画（計画期間：平成21年度～平成30年度）施策事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長： 定刻になりましたので、図書館協議会第3回定例会を始めさせていただきます。最初に館長から諸報告をお願いいたします。</p> <p>館長： 議会の一般質問で、図書館について「電子図書館の貸し出しについて」「指定管理について」「中・高生の学習室について」の3件の質問がありました。 また、図書館システム入替えのため、2月12日(水)から28日(土)の間休館いたします。</p> <p>会長： それでは、第2の議題の「西東京市図書館基本計画・展望計画について」ですが、本日は、資料に関する部分とサービスに関する部分の検討になっています。</p> <p>館長： 全て説明するのは時間がかかるので、見ていただいたことを前提に、ご質問していただきたいと思います。</p> <p>○会長： どこに該当するかは別として、ここはどうするのかということを出していただきました</p>	

と思います。お気づきになった点を挙げていただければ良いかと思います。

○委員：

利用者の調査を実施するという事は、非常に重要なことだと思います。

これに関してはいくつかありまして、「市民満足度調査」「子ども読書アンケート」等があります。それらに関し、調査結果をどのように分析し、どのように政策的に展開したかということを書かれるとよろしいかと思います。

館長：

「子ども読書アンケート」に関しては、現在、集計作業中です。また、「市民満足度調査」も今月15日から作業中です。

委員：

西東京市図書館基本計画・展望計画の1ページの5項目は当初からの基本計画を踏襲しているのでしょうか。1と4の項目が同じ内容だと思うのですが。

館長：

5項目は当初からの基本計画からあるものです。1については購入に関する事で、4については除籍に関する事となっています。

○委員：

新鮮度を保つという点では同じだと思うのですが。

○会長：

資料を集めるということでどれだけ努力をしたのかというのが1であって、4は古くなったり、壊れたりしたり、利用されなくなったものをどのように排除していくかということに重点を置いているので、おそらく見ている方向が違うので分けたと思います。

○館長：

選定の基準があり、保存の基準があります。購入と保存の基準があるので2項目になります。

○会長：

当初の項目が、変わってしまうと評価できなくなってしまうので現状のままでよろしいかと思います。

○館長：

たとえば、電子書籍については認知度や要望等が増えているということで書くということはできるのですが。

○会長：

電子資料等についての項目はこれから強化しなくてはならないと考えています。

○委員：

「平成27年度までに寄贈映像資料の提供を開始します。」ということは、この春から装備等を開始するのですか。

○館長：

寄贈の映像資料はデータの作成が大変でしたが、ここで分類の基準等データの整備ができそうなので、なるべく早く提供したいと考えています。

○委員：

基本的にDVD等なのですか。

○副館長：

一般的な娯楽的なDVDではなく、政府公官庁等が出しているジャンルです。

○委員：

それらを貸出すということですね。貸出方法等は今までのCDと同じようにカウンターでのやりとりになるのですか。

館長：

基本的には自動貸出になるかと思います。ただし、ポストでの返却はできないと考えています。

○委員：

基本的な確認をしたいのですが、各ページの左半分が「主な事業や取組事項、事業内容」で、右半分が「これまでの実績と今後の予定・課題」となっています。左半分の文章は決定済みで、右半分は今どう書くかの問題であると理解してよろしいのですね。

会長：

「主な事業や取組事項、事業内容」の中身については、よほど状況が変わらない限り変わることはないです。右半分の「これまでの実績と今後の予定・課題」については、皆さんの関心のあるところ、お気づきになったところをこの項目にとらわれずに言っていただいでそれらをまとめていこうと考えています。

○委員：

「児童資料選定基準(案)に外国語絵本の項を加えます。」とありますがこれはどういうニーズの下でこの項目を加えるのでしょうか。

○副館長：

「児童資料選定基準(案)」の最終版は、まだでき上がっていないのですが、外国語絵本について今まで項目がありませんでしたが、市にも多文化のセクションがありますし、市には色々な国の人が住んでいます。他の国のことを学びたい日本人もいま

す。そのような方々に外国語の絵本をきちんとした選定基準で提供したいということからこの項目を加えました。ニーズについては、総体的には小さいですが、それなりの需要はあります。

○会長：

西東京在住の外国人の方が、自国の絵本を借りてご子弟に与えたいと思うのは当然の要求でしょうから、少数だからとサービスを切り捨てるわけにはいきません。むしろ手厚くしなければならないということだと思います。

何か他にお気づきの点はありますか。

○委員：

質問ですが、2ページの「利用者満足度調査にとらわれない有効な調査を適時実施し」とありますが、これはどういう意味でしょうか。

○館長：

これは雑誌に関してのことで、タイトル数の見直しを24年度に大きく行いました。冊数を減らしタイトル数を増やすことを目標に行いました。

担当者が選んだものが有効であったかどうかということ进行分析したいということです。

委員：

7ページですが、利用対象者別サービスで、ビジネスパーソンを対象にしているのですが、中央図書館でもそういう試みを始めていて、更に展開しようという計画ですね。

副館長：

保谷駅前図書館のカウンター前のレファレンスコーナーの一部にあります。駅直結の図書館は初めてでしたので、このようなコーナーを作りました。狭いですが、回転率がいいです。中央図書館でもビジネスパーソン向けコーナーを展開したいと考えています。

委員：

10ページの絵本と子育て事業の推進で「3歳児健康診断時の実施に向けて、調査・研究をし準備をすすめます。」とありますが、すでに始めているのでしょうか。

○館長：

26年度から調査を始めます。

委員：

8ページの音楽配信サービスとはどのようなものでしょうか。

○会長：

図書館で音楽配信サービスを行っている図書館はあるのでしょうか。

○館長：

まだ、ないのではないのでしょうか。電子書籍と同様で図書館が購入してそれを提供するという形になると思います。

委員：

9ページの行事の見直し・充実のところ、「平成21年度と比較して平成24年度では、実施回数で28回、参加人数で237名の増加となっています。」とありますが、これは6館でですね。各館によってばらつきはあるのでしょうか。

○副館長：

各館によって人数のばらつきはあります。また、年度によっても異なります。人数を確保するために、色々な試みは行っています。

○委員：

図書館のおはなし会に入っているのですが、最近、小学生が減っています。公民館のロビーには小学生を見かけるのですが、図書館の中には入ってきません。

○館長：

難しい問題で、図書館の入り口等を変えるとか、子どもたちのためのスペースを作れば増加するとは思いますが、狭いスペースですので、うるさくなると困るという問題があります。

委員：

4ページの「紙芝居は絶版資料が多いため、市内1点資料については保存していきます。」とあります。本当に紙芝居については絶版が多いです。良い悪いはあると思いますが全部保存なされるのですか。

○副館長：

当面は、スペースが許す限り1点は残していきます。

○会長：

使う紙芝居と、保存とは機能が別です。歴史的な資料として価値を持ちますから。

次回はこの続きをいたしますが、この資料をお持ち帰りいただいて、文言等を確認していただき、次回は今日と同じように違う部分の意見を出し合います。最後の回でコメントをなおすところ、強化することを集中的に行いたいと思います。

それでは、本日の協議会を終了いたします。